

PPAによる金沢水再生センターの 大規模太陽光発電設備が供用を開始しました

横浜市下水道事業における温室効果ガス排出量の更なる削減を図るため、PPA^{※1}（電力購入契約）による金沢水再生センターの大規模太陽光発電設備の導入を進めてきましたが、令和7年3月24日に供用を開始しました。



※1 PPA : Power Purchase Agreement（電力購入契約）

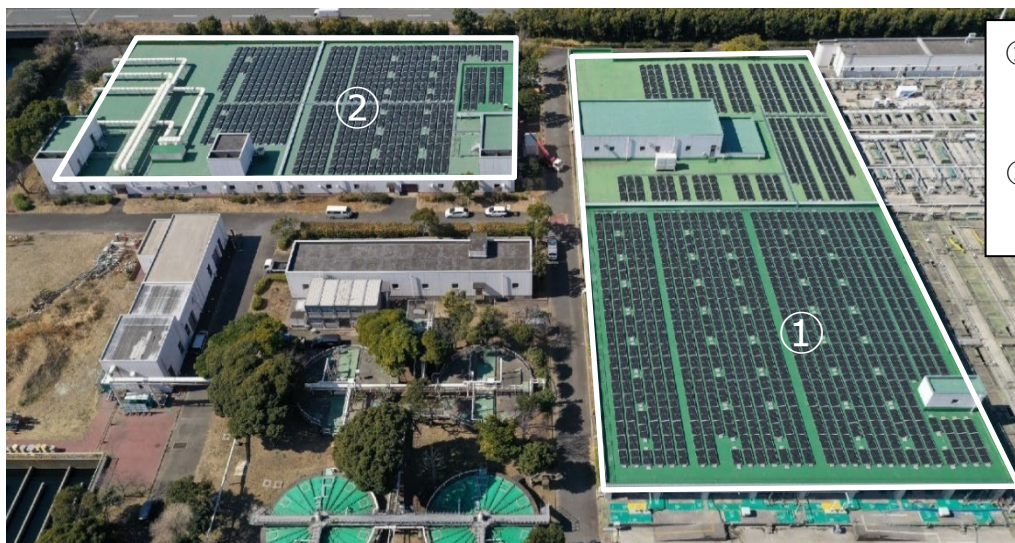
事業者が施設に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を購入する契約のこと。

1 事業概要

事業名称	金沢水再生センター再生可能エネルギー導入事業
設置対象	第6系列水処理施設屋上、雨水滞水池屋上 計 約 10,000m ²
発電容量	約 870 kW（発電した電気のすべてを金沢水再生センターで利用）
想定発電量	約 100 万 kWh/年（一般家庭約 250 世帯 ^{※2} 分に相当）
温室効果ガス排出量削減効果	約 420 t-CO ₂ /年
電力供給期間	令和7年3月24日～令和27年3月23日（20年間）
実施事業者	東急不動産株式会社

※2 「家庭部門のCO2 排出実態統計調査 令和6年10月（環境省）」の数値により算出。

2 設置状況



① 第6系列水処理施設屋上
（パネル枚数 889 枚）

② 雨水滞水池屋上
（パネル枚数 594 枚）

お問合せ先

下水道河川局設備課長 福田 有克 Tel 045-671-2816



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

